表３－１　デスクトップコンピュータ、一体型デスクトップコンピュータ及びシンクライアントのモード別比率

モード	従来型	プロキシ対応型（完全なネットワーク接続性）			
		基本能力	遠隔復帰	サービス検知／ネームサービス	全対応
T_{OFF}	45％	40％	30％	25％	20％
T_{SL}	5％	15％	28％	36％	45％
T_{LI}	15％	12％	10％	8％	5％
T_{SI}	35％	33％	32％	31％	30％

備考）　プロキシ対応型（完全なネットワーク接続性）とは、スリープモード又は10W以下の電力での代替低電力モードの間、ネットワークの存在を維持し、さらなる処理を要求された場合に判断良く復帰するコンピュータの能力をいう。以下表３－２において同じ。

①基本能力とは、低電力の間、システムがネットワークへの対応とネットワークの存在を維持するためインターネットプロトコル（IPv４及びIPv６）に対応する能力があることをいう。

②遠隔復帰とは、低電力の間、システムがローカルネットワークの外部からの要求に応じて復帰することをいい、基本能力を含む。

③ネットワーク検知／ネームサービスとは、低電力の間、システムがホストサービス及びネットワーク名の公表を可能にすることをいい、基本能力を含む。

④全対応とは、低電力の間、システムが基本能力、遠隔復帰及びネットワーク検知／ネームサービスに対応することをいう。

表３－２　ノートブックコンピュータのモード別比率

モード	従来型	プロキシ対応型（完全なネットワーク接続性）			
		基本能力	遠隔復帰	サービス検知／ネームサービス	全対応
T_{OFF}	25％	25％	25％	25％	25％
T_{SL}	35％	39％	41％	43％	45％
T_{LI}	10％	8％	7％	6％	5％
T_{SI}	30％	28％	27％	26％	25％

表３－３　電源装置許容値（A）

電源装置	対象機器	負荷条件別最低効率				最低平均効率	電源装置許容値
		10％	20％	50％	100％		
内部電源装置（ＩＰＳ）	デスクトップ	0.81	0.85	0.88	0.85	—	0.015
		0.84	0.87	0.90	0.87	—	0.03
	一体型デスクトップ	0.81	0.85	0.88	0.85	—	0.015
		0.84	0.87	0.90	0.87	—	0.04
外部電源装置（ＥＰＳ）	ノートブック	0.83	—	—	—	0.88	0.015
		0.84	—	—	—	0.89	0.03
	一体型ノートブック	0.83	—	—	—	0.88	0.015
		0.84	—	—	—	0.89	0.04

備考）　平均効率とは、定格出力電流の25％、50％、75％及び100％で試験したときの効率の相加平均をいう。

表３－４　基本許容値（TEC_{BASE}）

区分	グラフィックスの種類	デスクトップ又は一体型デスクトップ		ノートブック	
		性能	基本許容値	性能	基本許容値
0	グラフィックス全て	Ｐ≦３	69.0	Ｐ≦２	14.0
Ｉ１	一体型又は切替可能グラフィックス	３＜Ｐ≦６	112.0	２＜Ｐ≦5.2	22.0
Ｉ２		６＜Ｐ≦７	120.0	5.2＜Ｐ≦８	24.0
Ｉ３		Ｐ＞７	135.0	Ｐ＞８	28.0
Ｄ１	独立型グラフィックス	３＜Ｐ≦９	115.0	２＜Ｐ≦９	16.0
Ｄ２		Ｐ＞９	135.0	Ｐ＞９	18.0

備考）　Ｐの算定方法は、次式による。

Ｐ＝ＣＰＵのコア数×ＣＰＵクロック周波数（GHz）

コア数は物理的なＣＰＵのコア数を表し、ＣＰＵクロック周波数（GHz）は、ＴＤＰの最大周波数を表し、ターボブースト周波数ではない。

表３－５　デスクトップコンピュータ、一体型デスクトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ及びシンクライアントにおける独立型グラフィックス許容値（TEC_{GR}）及び追加許容値

許容値区分			デスクトップ	一体型デスクトップ	ノートブック
TEC_{MEM}（kWh）			0.8		
TEC_{GR}（kWh）	Ｇ１	ＦＢ＿ＢＷ≦16	36		14
	Ｇ２	16＜ＦＢ＿ＢＷ≦32	51		20
	Ｇ３	32＜ＦＢ＿ＢＷ≦64	64		26
	Ｇ４	64＜ＦＢ＿ＢＷ≦96	83		32
	Ｇ５	96＜ＦＢ＿ＢＷ≦128	105		42
	Ｇ６	ＦＢ＿ＢＷ＞128 フレームバッファ幅＜192bit	115		48